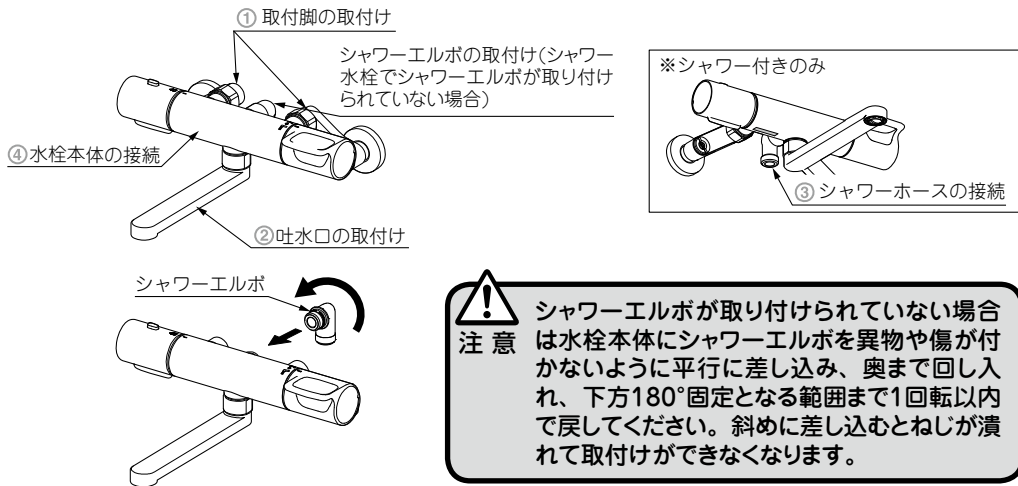


2. 施工方法

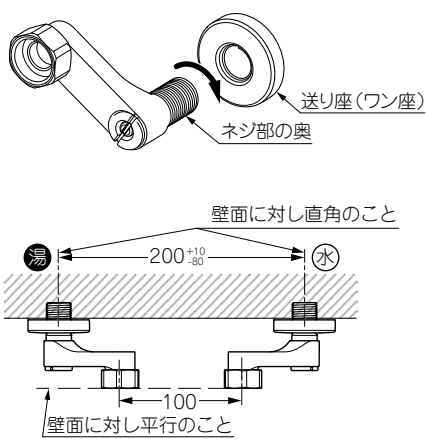
以下の手順どおり、正しく取り付けてください。

施工手順

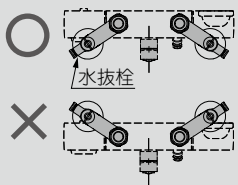


1 取付脚の取付け

送り座(ワン座)を取付脚のネジ部の奥まで回し入れる。
取付脚にシールテープを巻き付け、下図に従って取り付ける。

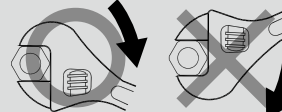
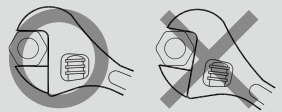


- 注意
- 一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向に回さないでください。
※シール不良となり漏水の原因となります。
 - 寒冷地用の場合は必ず水抜栓が本体より下になるように取り付けてください。
※水抜栓が水栓本体より上になると、水抜きができず、凍結や破損の原因となります。

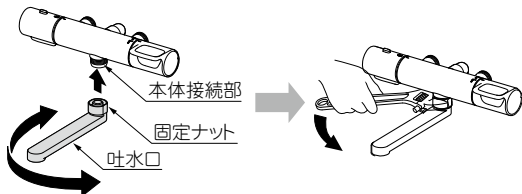


2 吐水口の取付け(吐水口付のみ)

- 注意
- 必ず、先に吐水口を水栓本体へ取り付けてください。
※後から取り付けると、吐水口を落として床を傷つけたり、ケガをする恐れがあります。
 - 袋ナットの締付けにモンキーレンチを使用する場合は、先端の幅を袋ナットの2面幅に合わせてください。
※締付不足により、漏水の原因となります。
 - 袋ナットの締付けにモンキーレンチを使用する場合は、工具の向きにご注意ください。
※締付不足により、漏水の原因となります。
※水栓金具や工具が破損する恐れがあります。

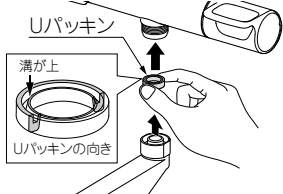
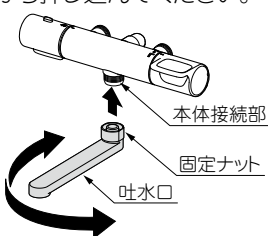


吐水口を本体接続部に挿し込み、モンキーレンチ(呼び250以上)等を用いて固定ナットをしっかりと締め付ける。



- 注意
- 本体内にUパッキンが装着されていることを確認してください。
※Uパッキンが無いと漏水の原因となります。

- ポイント
- 挿し込みにくい場合は、吐水口を左右に振りながら押し込んでください。
 - Uパッキンが脱落した場合は、先にUパッキンを水栓本体に挿入してから、吐水口を挿し込んでください。



3 シャワーホースの取付け(シャワー付のみ)

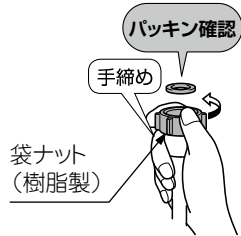
シャワーホースの袋ナットの種類を確認し、それぞれの手順で取り付ける。

袋ナット(金属製)の場合 工具を使ってしっかりと締め付ける。



- 注意
- 締付けにモンキーレンチを使用する場合は、先端を金属ナットの2面幅に合わせてください。
※締付不足により、漏水の原因となります。
 - 締付けにモンキーレンチを使用する場合は、工具の向きにご注意ください。
※締付不足により、漏水の原因となります。
※水栓金具や工具が破損する恐れがあります。
 - パッキンの紛失に注意してください。
※漏水の原因となります。
 - 必ず付属の黒いパッキンを使用してください。

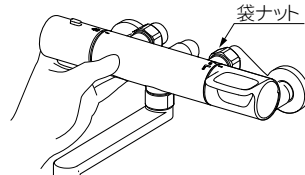
袋ナット(樹脂製)の場合 手締めでしっかりと締め付ける。



- 注意
- 袋ナットの締付けに工具は使用しないでください。
※工具を使用すると袋ナットが破損する恐れがあります。
 - パッキンの紛失に注意してください。
※漏水の原因となります。

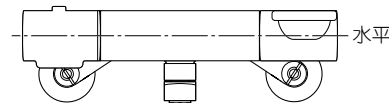
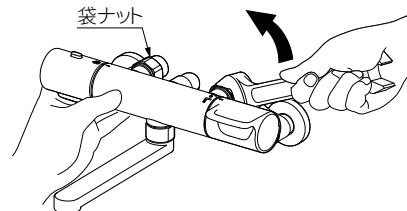
4 水栓本体の取付け

1. 水栓本体を取付脚の袋ナットに取り付け、手で軽く締める。



- 注意
- 取付脚の袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。
※漏水の原因となります。

2. 水栓本体を水平にし、スパナ(呼び30)で取付脚の袋ナットを締め付ける。



- 注意
- 水栓本体は重量があります。落下等に十分注意して作業してください。

ポイント
水栓が水平に取り付くように注意しながら、湯側、水側の袋ナットを交互に締め付け、しっかりと固定してください。

5 シャワーフックの取付け

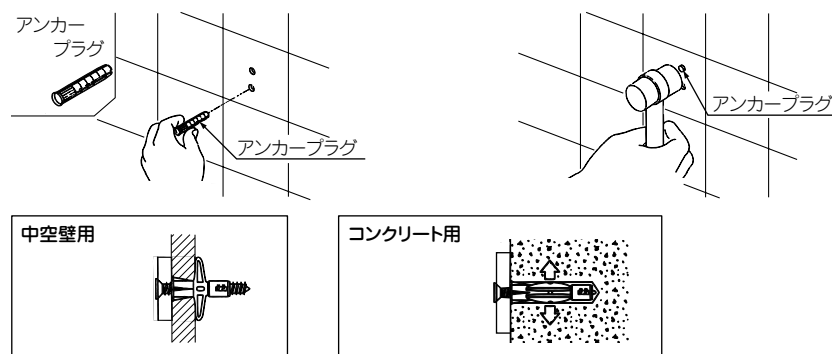
シャワーフックを壁面に取り付けます。
※既設のシャワーフックを利用する場合は、取り付ける必要はありません。
※既設のシャワーフックを外した場合は、防水処理および仕上げ処理をしてください。

1. 施工完了図を参考にシャワーフックの取付位置を決めて、ネジ穴をマーキングして電動ドリルで穴を開ける。



2. ネジ(呼び4.5×30mm)にあったアンカープラグをネジ穴に差し込み、壁からはみ出さないようにハンマーなどで軽くたたいて埋め込む。

- 注意
- アンカープラグは別途ご用意ください。
 - コンクリート用と中空壁用のアンカープラグがあります。コンクリート壁の場合はコンクリート壁用をご使用ください。ユニットバスの場合は中空壁用をご使用ください。
 - ネジ穴をあけるときには、壁面裏側のガス管や給水管などにご注意ください。



3. シャワーフックにパッキンを取り付け、ドライバーでネジを締め付け、固定する。

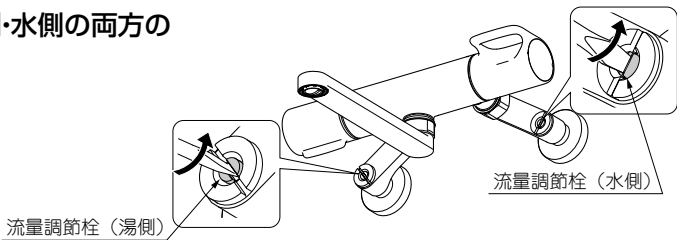


3. 施工後の調節

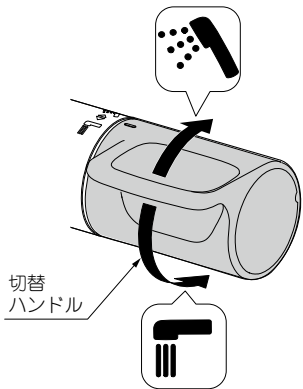
以下の手順どおり、正しく調節してください。

1 通水確認

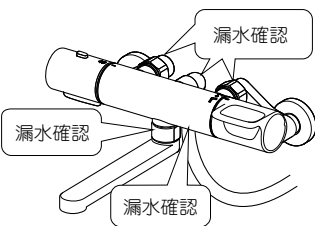
1. マイナスドライバーで湯側・水側の両方の流量調節栓を開ける。



2. 切替ハンドルを手前(吐水口)に回し、吐水口から水が出ることを確認する。また、切替ハンドルを奥側(シャワー)に回し、シャワーから水が出ることを確認する。
※ 品番によっては操作方法が異なります。



3. 水を止め、接続部から漏水がないことを確認する。



2 ストレーナーの掃除

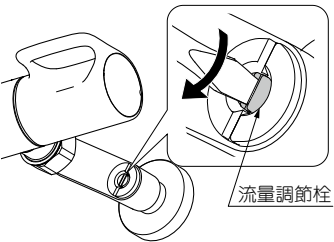
初期通水後のゴミを取り除くために、取付脚のストレーナーを掃除してください。

注意 ストレーナーの掃除をする前に必ず流量調節栓を閉めてください。
※ 閉じずに作業を行うと高温の湯が吐水しヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。

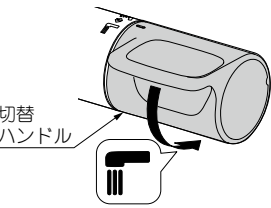
1. マイナスドライバーで湯側・水側の流量調節栓を閉じる。

注意 作業前に湯側(左)の取付脚が熱くないか確認してください。
※ ヤケドの恐れがあります。

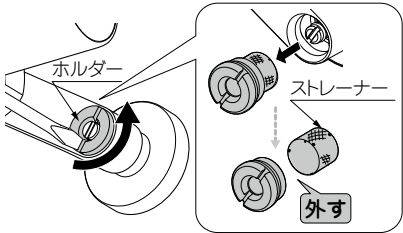
ポイント
● 湯側・水側の両方行ってください。
● 右側いっぱいまで回してください。
● 閉じるときに、どの程度回転させたか覚えておくと清掃後の開度調節が容易になります。



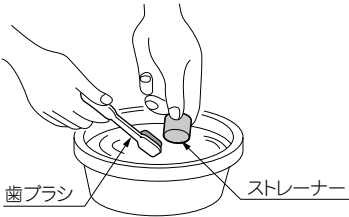
2. 切替ハンドルを全開まで回し、残水を出す。



3. マイナスドライバーでホルダーを緩めストレーナーを取り外す。

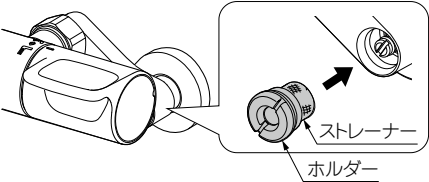


4. ストレーナーに付いたゴミや汚れを歯ブラシなどを使用し水洗いする。



5. ホルダーとストレーナーを取り付け、流量調節栓を元の位置まで開ける。

ポイント
● 流量調節栓は、必ずホルダーとストレーナーを取り付けた後に開けてください。
● 湯側・水側の両方行ってください。



3 給湯温度の設定

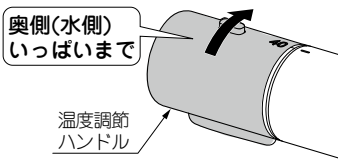
サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調節しています。
このため、給湯器の設定温度より、吐水温度は低くなります。

- 給湯器の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定してください。
※ 給湯温度は**50℃以上60℃以下**の設定をおすすめします。
ただし、ヤケド防止のため、60℃を超えない設定にしてください。
- 流量を絞って使用すると給湯器が作動しない場合があります。
※ 給湯器の取扱説明書にて最低作動流量をご確認のうえ、ご使用ください。

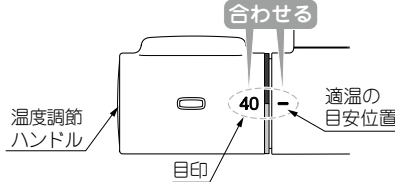
4 流量の調節

流量が多い場合は、湯側・水側の流量調節栓をそれぞれ次の手順で調節してください。

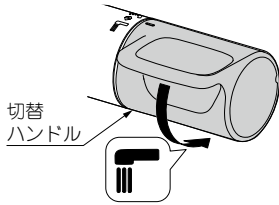
1. 温度調節ハンドルの「目印」をいっぱいまで回す。



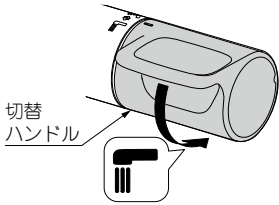
4. 温度調節ハンドルの「目印」と「適温の目安位置」を合わせる。



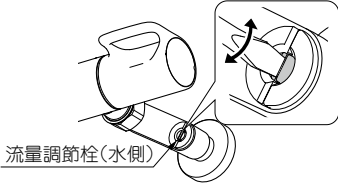
2. 切替ハンドルを手前へ全開まで回し、吐水口から水を出す。
※ 品番によっては操作方法が異なります。



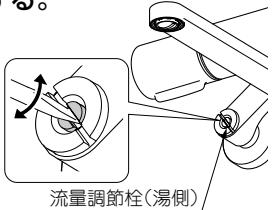
5. 切替ハンドルを手前へ全開まで回し、吐水口から湯を出す。
※ 品番によっては操作方法が異なります。



3. マイナスドライバーで水側(右)の流量調節栓を回し、最適な流量に調節する。



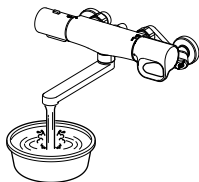
6. マイナスドライバーで湯側(左)の流量調節栓を回し、最適な流量に調節する。



ポイント

最適な流量とは…

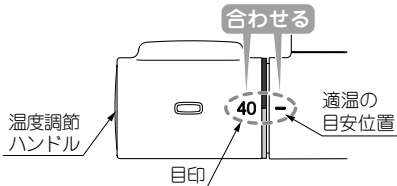
洗面器(容量3L)をいっぱいにするのに、約10秒弱が目安です。
(=20L/分 程度)
※ シャワー流量も快適になっているか、合わせてご確認ください。



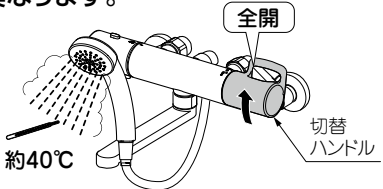
5 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは出荷時に設定していますが、使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。
吐水温度が表示どおりになっているか次の手順で確認してください。

1. 温度調節ハンドルの「目印」を「適温の目安位置」に合わせる。



2. 切替ハンドルを奥側(シャワー)に全開まで回し、吐水温度を確認する。
※ 品番によっては操作方法が異なります。



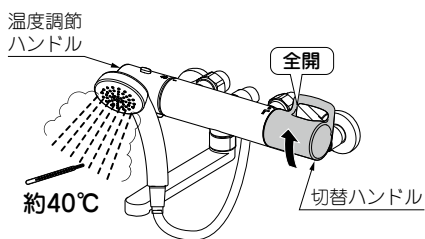
吐水温度が	適温(約40℃)である	そのままご使用いただけます。
	適温(約40℃)に合っていない	下記の「温度調節ハンドルの設定」を参照し再調節をしてください。 LIXIL 修理受付センターにおいてもハンドル調節を承りますが、保証期間内でも 有料作業 となります。

吐水温度と温度調節ハンドルの表示が合っていない場合は、次の手順で再調節してください。
LIXIL 修理受付センターにおいてもハンドル調節を承りますが、保証期間内でも**有料作業**となります。

※ハンドルの設定手順は、動画でもご確認頂けます。



1. 開閉ハンドルを奥側へ全開まで回し、ハンドシャワーから水を出す。
温度調節ハンドルを「目印」の表示に関係なく吐水温度が適温（約40℃）になるように回し、止水する。



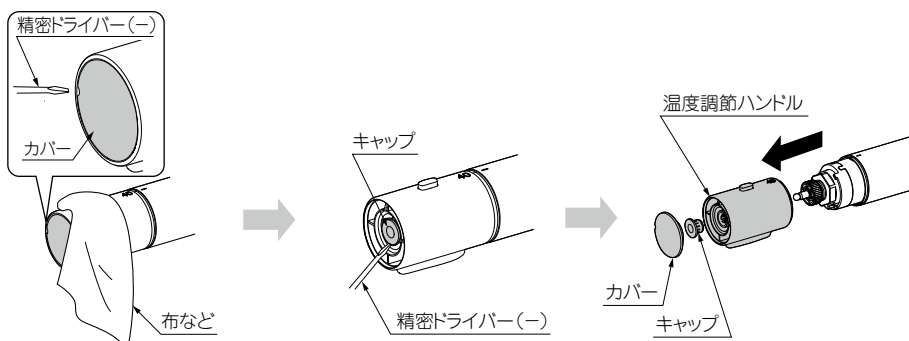
ポイント

【高温の湯を出す場合】

温度調節ハンドルには、安全ボタンがついており、適温の目安位置「-」を少し過ぎたところで一度ロックされます。さらに高温側に回したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

2. 温度調節ハンドルが回らないように注意して、キャップ、ネジ、温度調節ハンドルの順に取り出す。

- ①温度調節ハンドルに布などを被せて保護し、
細密ドライバー（-）でカバーを取り外す。
②精密ドライバー（-）でキャップを取り外す。
③温度調節ハンドルを手で引き抜き取り外す。

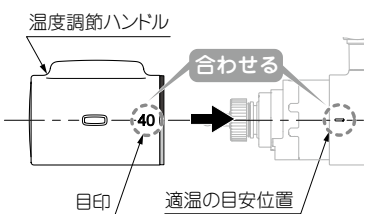


注意 カバー・キャップを取り外す時は、慎重に行ってください。
※無理に取り外そうとすると、キズ、破損の原因になります。

ポイント

キャップを外すと温度調節ハンドルは手で引っ張るだけで外れます。

3. 取り外した温度調節ハンドルの「目印」が「適温の目安位置」に合うように温度調節ハンドルをはめて、キャップ、カバーを取り付ける。



注意 取付け後は、温度調節ハンドルの目印と適温の目安位置「-」を合わせた位置で吐水し、適温になっているかを確認してください。
※ 高温の湯が出て、ヤケドの恐れがあります。

ポイント

キャップを奥までしっかり挿入します。

4. 引渡前の確認

お客さまに引き渡す前にもう一度通水し、以下のような現象がないか確認してください。
※ 点検箇所は、下図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置	参照項目
温度が安定しない、温度調節がうまくできない	圧力は十分か？	—	圧力条件を確認する。	施工の前に「本製品の仕様と使用条件」
	しばらく流しても改善しないか？	—	温度が安定するまでお湯を出し続けてから使用する。	
	他の場所（トイレ、キッチン、洗面など）で同時に水栓を使用していないか？	—	他の場所の水栓と同時に使用しないようにする。	
	給湯器の温度は正しく設定されているか？	—	給湯温度を50℃以上60℃以下の設定にする。	施工後の調節「吐水温度の確認」
	温度調節ハンドルの設定と吐水温度は合っているか？	A	温度調節ハンドルの再調節をする。	施工後の調節「吐水温度の確認」・「温度調節ハンドルの設定」
	流量調節はされているか？	B	適正流量に調節する。	施工後の調節「流量の調節」
流量が少ない	ストレーナーにゴミが詰まっているか？	C	ストレーナー汚れや目詰まりを取り除く。	施工後の調節「ストレーナーの掃除」
	給湯器の温度は正しく設定されているか？	—	給湯温度を50℃以上60℃以下の設定にする。	施工後の調節「吐水温度の確認」
	圧力は十分か？	—	圧力条件を確認する。	施工の前に「本製品の仕様と使用条件」
	流量調節部は十分に開いているか？	B	流量調節栓を十分開く。	施工後の調節「流量の調節」
	ストレーナーやシャワー散水板にゴミが詰まっているか？	C, D	ストレーナー汚れや目詰まりを取り除く。	施工後の調節「ストレーナーの掃除」 シャワーヘッド取扱説明書
	【スイッチシャワーの場合】減圧弁のフィルターにゴミが詰まっているか？	E	水栓本体から減圧弁を取り外し、接続部にあるフィルターを掃除する。	
流量が多すぎる	配管途中に大きな抵抗はないか？	—	抵抗となる障害物を取り除く。	
	切替ハンドルを絞りすぎているか？	F	切替ハンドルを開く。	
水が止まらない	流量調節はされているか？	B	流量調節栓を絞る。	施工後の調節「流量の調節」
	ゴミかみはないか？	G	ゴミなどを水で洗い流す。	
接続部から水漏れする	O リング、シートにキズはないか？	G	キズがあれば部品を交換する。	
	吐水口接続部から水が漏れているか？	I	吐水口の固定ナットをしっかりと締める。	施工方法「吐水口の取付け」
シャワーホースから水漏れする	シャワーホース接続部から水が漏れているか？	J	シャワーホースの袋ナットをしっかりと締める。	施工方法「シャワーホースの取付け」
	取付脚と本体の袋ナットから水が漏れているか？	K	取付脚の袋ナットをしっかりと締める。	施工方法「水栓本体の取付け」
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か？（ゴミ、砂かみはないか？・Oリングにキズはないか？）	H	ゴミなどを水で洗い流す。キズがあれば部品を交換する。	
水栓本体から音がする	流量調節栓を適切に絞っているか？	B	流量調節栓を絞る。	施工後の調節「流量の調節」
シャワーヘッドがフックから浮き上がる	流量調節栓を適切に絞っているか？	B	流量調節栓を絞る。	施工後の調節「流量の調節」
シャワーヘッドがフックから浮き上がる	シャワーフックの位置は正しいか？	—	シャワーフックの取付位置を確認する。	施工の前に「施工完了図」
	水栓本体がガタつく	K	取付脚の袋ナットをしっかりと締める。	施工方法「水栓本体の取付け」

シャワーヘッド

シャワーホース

多機能シャワーの場合

D. ストレーナー

※多機能シャワーの使用条件については、シャワーセットに付属の取付説明書を参照のうえご確認ください。

スイッチシャワーの場合

散水板

シャワーヘッド

シャワーホース

減圧弁

E. フィルター

J. シャワーホースの袋ナット

寒冷地（水抜き式）

パッキン

パッキン

シャワーエルボ

J. シャワーホースの袋ナット

温調カートリッジ

A. 温度調節ハンドル

I. 固定ナット

パッキン

H. 逆止弁

K. 取付脚の袋ナット

B. 流量調節栓

C. ストレーナー

G. 切替弁

F. 切替ハンドル

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。